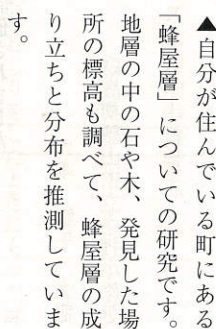


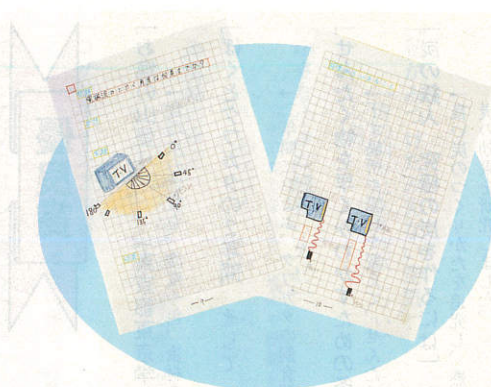
「蜂屋層を求めて（蜂屋層の分布）」

六年 加藤 温史



す。

初めは蜂屋町だけにあると思
つていた蜂屋層を、美濃加茂市
内のいたる所や隣の可児市で発
見したときの驚き、また、遠く
離れた長崎県で同じつくりの地
層をみつけたときの感動が素直
に表現されていて、楽しみなが
ら研究をすすめているのがよく
わかります。本で読んだことや
聞いた話で終始しがちなテーマ
を、自分の足で探し、自分の目
で観察した結果から考察してい
る姿勢と、広い範囲に目をむけ
て研究に広がりをもたせた点が
評価されました。



「電磁波の秘密を探る」

岐阜県各務原市立稲羽西小学校

五年 荊谷 尚久

▲テレビ番組を見ていて、電磁波って何だろう、という疑問をもち、身の回りのテレビのリモコンや電子レンジ、ラジオなどを使って調べました。一つの疑問に対して予想をたてて実験を行い、結果から考察するという手順をくり返しながら、疑問に対して徹底追究している姿勢が評価されました。

「カメのうすちゃん」

東京都百合学園小学校

三年 吉野 摩耶

▲カメは物を見分けられるのか、という疑問をもち、えさの入れ物や置き場所を変えたり、音を聞かせてみたりして、実験をくり返しました。カメが学習するということを段階をふまえて丁寧に調べています。実験結果を全部自分が描いた絵でまとめている、ペットへの愛情にあふれた作品です。

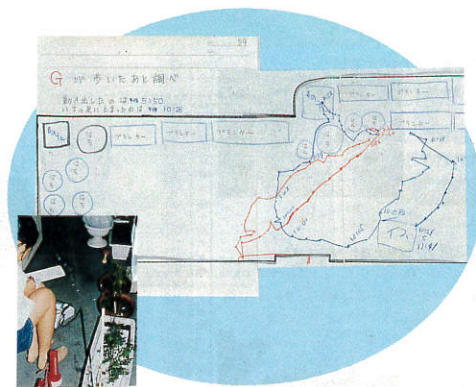
全国中学校理科教育研究会 会長賞

「蝶の変態調べ パートⅡ」

神奈川県茅ヶ崎市立梅田中学校

一年 安武 陽子

▲約一ヶ月にわたって、七匹の幼虫がさなぎになる様子やさなぎを支える糸について地道に観察しました。幼虫がさなぎになるときにどのくらいのきよりを歩くのか後を追う、一分ごとに綿密な記録をとるなど、一つのテーマにそって、ねばり強く追究する姿勢が評価されました。



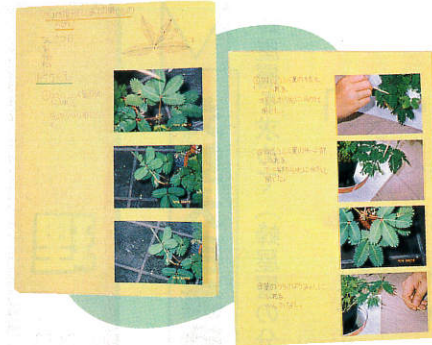
優秀賞

「オジギソウのかんさつ」

東京都港区立白金小学校

三年 山下 裕加

▲さわると閉じるオジギソウを不思議に思い、観察しました。オジギソウが閉じる条件を天気、光、刺激、においなどさまざまな角度から根気強く実験をすすめています。研究の視点が明確で、葉のスケッチもひじょうにうまいに、くわしく描けていました。



「うくか しずむか 大研究」

岐阜県瑞浪市立瑞浪小学校

三年 中川 翔太

▲物の浮き沈みのちがいを、野菜や果物の種類を変えるだけではなく、水に入れるときの向きや力の加減、液体の種類を変えるなど、検証的にまとめあげている点が評価されました。

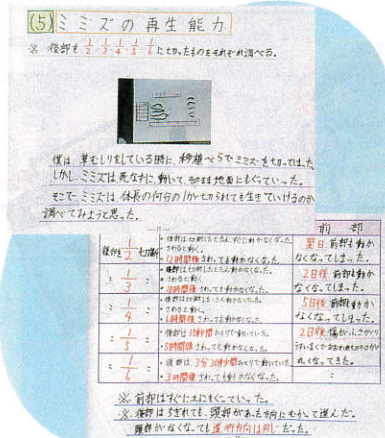


「ミミズは大地の救世主！」

福島県郡山市立中野小学校

六年 増子 大樹

▲庭の草むしりをしたときにもった疑問から、ミミズについて研究をしました。ミミズにミニカーを引っ張らせたり、再生能力を調べたり、調べようとする視点がユニークで新鮮でした。



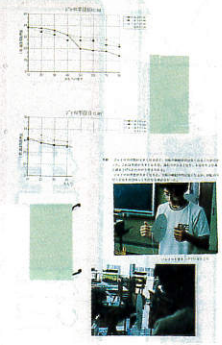
中央出版(株)特別賞

「ジャイロを利用した永久機関に挑戦」

岐阜県久瀬村立久瀬中学校

二年 小倉 栄次
高橋 崇仁

▲仮説をたて、データをとりながら、事柄の道理を確かめていく姿勢が評価されました。



総評

今年は、千三百点をを超える多くの作品が寄せられました。例年にも増して、長期にわたる地道な観察記録や工夫を凝らした比較実験が多く、力作ぞろいでした。ただ、自分の予想と反する実験結果が出たときに、それをうのみにして終わってしまったという研究もあったのは残念です。「どうして、この結果が出たのか」を納得するまで投げ出さずに追究する、といった姿勢で取り組むと、より良い研究になると思います。

自由研究のポイント

●テーマ選び 「何にしようかな」と頭の中で考えているだけでは良いテーマはみつかりません。普段のくらしのなかで、ちよつとでも不思議に思ったこと、興味をもったことをとりあげてみましょう。

●まとめ方 写真とスケッチの使い分けを上手にしましょう。写真なら変化の様子がよくわかり、スケッチなら特に注目してほしい部分をくわしく表現することが出来ます。

優良賞

「お塩の山登り」

(東京都東京学芸大学教育学部附属小金井小三年) 鹿島 千嘉
→食塩水の性質を、濃度や色、素材を変えて研究しました。

「ぼくとクワガタの2年間 そして ぼくの大発見」

(東京都星美学園小四年) 橋本 和明
→二年間におよぶ、クワガタの飼育観察記録です。

「せんたく物を早くかわかすための条件」

(岐阜県瑞浪市立瑞浪小五年) 村井 康治
→干す場所や素材を変えて、せんたく物のかわきやすさを研究しました。

「炭の鉄人 究極の炭を作るには」

(岐阜県瑞浪市立明世小六年) 本莊 有美
→良い炭のつくりかたを追究し、燃焼テスト、湿気とりテスト、湯わかしテストなどをして、炭の効果を研究しました。

「花の長もち条件」

(神奈川県茅ヶ崎市立第一中三年) 藤間 瑞希
→水の種類や茎の切りかたを変えて、生花を長く保存する方法を研究しました。

佳作

「私がみつけたみえない空気」

(千葉県流山市立流山小三年) 鈴木 蛍
→身の回りにある空気について、とてもいいに実験をすすめて、楽しい研究成果をあげました。

「小さな小さな植物 カビ」

(岐阜県瑞浪市立瑞浪小三年) 小島 直行
→カビの生育条件を、場所や種類を変えたり、温度や水分、栄養分との関係を追究したりして、根気強くいいに調べました。

「糸電話の研究」

(岐阜県瑞浪市立瑞浪小三年) 伊藤麻衣子
→糸電話の糸や筒の形、張る紙の種類を変えたり、風船やホースを使ったりして、工夫をこらした実験をしました。

「コザクラインコの研究」

(岐阜県岐阜市立長良西小三年) 河合亜也加
→小鳥のたん生から成長の様子、行動などをいいに観察した記録です。

「やさいの切れはしを育てよう」

(京都府京都市立藤ノ森小三年) 服部 紗弓
→やさいの切れはしからの発芽、発根のしかたを実験、観察しました。

「マツバボタンの研究」

(東京都筑波大学附属小四年) 小林 洋一
→マツバボタンの開花の習性と、光との関係を追究した作品です。

「小さな折り紙をうまく折る方法1、2、3、」

(東京都新宿区立落合第四小四年) 坂 由美子
→紙の厚さ、種類を変えたときの紙の折りやすさや、紙を折ったときのはんぱつなど、折り紙と紙の性質を組み合わせた研究です。

「ありじごくの実験」

(岐阜県美濃加茂市立古井小四年) 高井 翔人
→アリジゴクの動きと食物や水との関係を実験、観察しました。

「日焼けの研究」

(東京都東京学芸大学教育学部附属小金井小五年) 増田浩太郎
→いろいろな素材の色を変えたり、日焼け止めクリームをぬったガラスをかぶせてみたりして、日焼けの状況を比較実験しました。

「植物も汗をかくのかな？」

(岐阜県瑞浪市立瑞浪小五年) 日比野文香
→時間や天気を変えて、いろいろな野菜の葉の蒸散の様子を調べました。